

## 第6学年〇組 外国語科 学習指導案

日 時	令和5年〇月〇日 (〇) 第〇校時
活動場所	1階 6年〇組教室
学級人数	男子21名 女子18名 計39名
授業者	T1
	T2
	ALT

### 1 単元名

Unit 6 Let's think about our food 食材を通じて世界のつながりを考え、メニューを発表しよう。  
P.50.51, NEW HORIZON Elementary English Course 6

### 2 単元について

本単元のねらいは、世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、短い話を聞いてその概要が分ったり、伝え合ったり、話したりする力を身に付けることである。

活動を通して外国語の背景にある文化に対する理解を深めるとともに、学習者用デジタル教科書を効果的に活用し、英語の表現について興味・関心を高めたい。

### 3 児童の実態について

〈省略〉

### 4 指導観

学習者用デジタル教科書を活用して、話すこと(やりとり)を取り扱いながら、児童のコミュニケーションに対する関心・意欲を高めるようなICT機器の効果的な活用を目指してきた。

実践を始めた時点では、学習者用デジタル教科書をどのように活用すればよいか、明確な方法が分らなかったため、本校ではトライアル・アンド・エラーの精神で実際に使ってみて効果的であると感じられるかどうかを確認しながら実践を積み重ねてきた。

現在、学習者用デジタル教科書の動画に合わせて、児童が自信を持ってその役の台詞を言うことができるようにすることで、意欲的に学習に取り組めるものと考え、指導方法を工夫しているところである。

本校の学校教育目標の一つである「かんがえる子」の育成に重点を置き、英語の学習指導を行っている。実生活に関わることについて意見のやり取りや、自己表現の場面を多く設けていく。また、前期課程段階では話す・聞く力の育成を目指し、英語でやり取りをする場面を意図的に設定する。

### 5 単元の目標

世界と日本との食に関する関係を知り、いろいろな国の食に係る人や料理に思いをはせる気持ちを育む。

- ・食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、短い話を聞いて概要をとらえることができる。 〈知識及び技能〉
- ・食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、伝え合ったり、話し合ったりしている。 〈思考力・判断力・表現力〉
- ・食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、相手を意識しながら、話したり、書いたりして伝えようとしている。 〈学びに向かう力、人間性等〉

### 6 単元の評価規準 本単元における「聞くこと」「読むこと」については、目標に向けての指導は行わすが、本単元内で記録に残す評価は行わない。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (発表)	○What did you eat for～. I ate～. I usually eat～.	○自分のオリジナルカレー を食べてもらうために、材	○自分のオリジナルカレー を食べてもらうために、材

	～is from…などの表現を用いて、お互いの食に関する考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。	料やその産地について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合っている。	料やその産地について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。
書くこと	○自分のことや食に関する事柄について、音声で慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書く技能を身に付けている。		

7 指導計画（8時間扱い）

時	◆ねらい ○活動	評価			
		知・技	思・判・表	態	◎評価規準<評価方法>
1 本 時	◆食べ物や産地についてのやり取りを聞いて、英語で話そうとする。 ○Let's Sing "What did you eat?" ○Small Talk 話題：朝食 ○Word Link 食べ物 ○Speaking アフレコ ○Let's Read and Write①				★本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。
	◆食べ物や産地についてのやり取りを聞いて、内容を理解する。 ○Let's Sing "What did you eat?" ○Word Link 食べ物・食事 ○Let's Chant "Are you hungry?" ○Starting Out リスニング ○Let's Read and Write②				★本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。
3	◆食べ物と産地について伝え合おうとする。 ○Let's Sing "What did you eat?" ○Small Talk 話題：昨日の夜に食べたもの ○Word Link 食材 ○Let's Try② "Point and Say Game" ○食材の産地を調べる ○Let's Read and Write③				★本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。
	◆食べ物かどの栄養素のグループに入るか伝え合う技能を身につける。 ○Let's Sing "What did you eat?" ○Word Link 食材・果物・野菜 ○Let's Chant "Are you hungry?" ○食材の栄養について調べる ○Let's Try③ ○Let's Read and Write④				★本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。
5	◆「オリジナルカレー」について紹介する文を考え、相手に伝える技能を身につける。 ○Let's Sing "What did you eat?" ○Step1 アフレコ	発			◎I usually eat ~. ～is from…などの表現を用いて、お互いの食に関する

	○Step2 誰に食べてもらいたいのか、食材の産地はどこなのか、なぜその食材を使うのか、を考える。				る考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。
6	◆「オリジナルカレー」について紹介する文を考え、発表をして相手に伝える。				
	○Let's Sing "What did you eat?" ○Let's Chant "Are you hungry?" ○Step3		発	発	◎自分のオリジナルカレーを食べてもらうために、材料やその産地について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合っている。
7	◆日本と世界の食糧事情について考え、世界と日本の文化に対する理解を深める。				
	○Let's Sing "What did you eat?" ○Do you know? 日本の食料自給率について調べる。				★本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。
8	◆英語を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。				
	○Let's Sing "What did you eat?" ○ことば探検 ○世界の素敵				★本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。
後日	・ペーパーテスト	書			・自分のことや食に関する事柄について、音声で慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書く技能を身に付けている。

## 8 本時の展開

目標 登場人物が食べたものやそれらの産地についての会話を聞き、やり取りの内容を英語で話す。(知識・技能)

準備 教科書、ピクチャーディクショナリー(PD)、ワークシート(WS)、タブレット(指導者用・生徒用デジタル教科書)、大型ディスプレイ

○ 展開(1/8)

過程	○学習内容	指導上の留意事項 ◎評価<方法>
導入 8分	○あいさつをする。 ○英語の歌を聞いて、どんな内容なのか考える。 ○英語の歌を聞いて、歌えるところを歌い、本単元で使う表現に触れる。 ○Small talk "What do you usually have for breakfast?" 一人ひとりに聞いていく。	・ PD の P,11 の「食材」のページを開かせ、何が聞こえたか確認する。

展開 32分	<p>○PDのP,8「食べ物」新出単語の練習をする。</p> <p>○生徒用デジタル教科書を使い、個人練習を行なって発音と意味を理解する。</p>	<p>・学習用タブレット内にある生徒用デジタル教科書の音声機能を使い、個人で単語の発音練習をさせる。</p>
	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">食べ物や産地についての会話を聞いて、英語で話してみる。</p> <p>○教科書P,54の音声を観て、登場人物になりきって同じセリフを映像に合わせて言えるように練習をする。</p> <p>生徒用デジタル教科書を使い繰り返し練習を行う。</p> <p>○全員で映像に合わせてセリフを言う。</p> <p>○数人の児童が発表を行う。</p> <p>○Let's read and write モデル文の音声を聞いて、声に出して読む。</p> <p>○教科書P,88「わたしのせりふ」に「私は昨晚、○○を食べた。」という英文を書かせる</p>	<p>・学習用タブレット内にある生徒用デジタル教科書の音声機能を使い、個人で練習をさせる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">◎食べ物や産地についての会話を聞いて、英語で話そうとしている。(観察) ☆児童生徒への手立て A:教科書を観ずに言えるように指導する。 C:机間指導で個別支援をする。</p> <p>・会話の内容を文字に起こすと、このような英文になることを気づかせる。</p>
まとめ 5分	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">食べ物や産地についての会話を聞いて、英語で話してみる。</p> <p>○振り返りシートを記入する。</p> <p>○あいさつをする</p>	